

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
世界遺産とユネスコの教育		全教諭	6H	講義
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成29年8月18日(金)	80人	坂井 秀弥(奈良大学・教授) 西山 要一(奈良大学・名誉教授) 中澤 静男(奈良教育大学・准教授) 田淵 五十生(奈良教育大学・名誉教授)		
会場				
奈良教育大学				
【講習の概要】				
日本に世界遺産が20サイトあるが、そのうち3件が奈良県に集中している。世界遺産の持つ意味を「世界遺産条約」に照らし合せて理解するとともに、どのような世界遺産が存在し、現在どのような問題が生じているのかなど、世界遺産を巡る諸問題を多角的に考えてみたい。また、近年の上滑りな「世界遺産ブーム」について批判的に検討したい。さらに、ユネスコが提唱する世界遺産教育についても紹介したい。世界遺産は単に観光資源だけでなく、豊かな教育資源に転化できる経緯について理解を深めたい。				
【小テーマ①】世界遺産と日本の文化財保護制度			1. 5H	(担当講師:坂井 秀弥)
講習形態	講義形式			
講習内容	日本では世界遺産が続々と誕生し大きな話題になっている。日本のみならず世界各国でも世界遺産登録は盛んである。その背景には地方自治体や国の地域・観光振興政策がある。地域住民が地域の歴史・文化を理解し、アイデンティティの拠り所とすることは重要であるが、遺産を制度的に確実に保護することも不可欠である。この授業では、世界遺産の制度と現状と課題を取り上げるとともに、日本における文化財保護制度との関連や、文化財保護における市民・住民や学校教育の役割について学ぶ。			
到達目標・確認指標	文化遺産を保存・活用するための法制度などの仕組みと、それを具体的に持続させる地域づくりのあり方について理解する。			
キーワード	文化財保護法 保存・活用 地域(まち)づくり 市民・住民の役割			
【小テーマ②】世界遺産を巡る状況と保存問題―「危機遺産」、「負の遺産」を中心にして			1. 5H	(担当講師:西山 要一)
講習形態	講義形式			
講習内容	戦争・災害・開発などにより破壊され、また損傷の恐れのある「危機にさらされている世界遺産」の現状と保存・修復を紹介し、世界遺産の保護・継承の重要性を認識する。また、戦争や人種差別に係る「負の遺産」を取り上げ、世界遺産が民族和解や平和の構築に寄与することを解く。			
到達目標・確認指標	世界遺産が、優れた人類の文化、貴重な自然の遺産であるとともに、保護し次世代に継承することの大切さを認識する。			
キーワード	危機遺産 負の遺産 保存・修復 継承			
【小テーマ③】持続可能な開発のための教育としての世界遺産教育			1. 5H	(担当講師:中澤 静男)
講習形態	講義形式			
講習内容	2005年から2014年までの「国連ESDの10年」の後継プログラムとしてGAP(グローバル・アクション・プログラム)が始まった。我が国においても新学習指導要領にESDの理念が反映され、ますますその必要性は高まっている。本授業では、「ESDの視点」「育みたい力」「学習方法」など、ESDの基本について概説するとともに、ESDとしての世界遺産教育の有効性について検討する。			
到達目標・確認指標	ESDの学習内容や学習方法について、またESDとしての世界遺産教育の有効性について理解する。			
キーワード	地球的諸課題、環境・経済・社会・文化、行動化			
【小テーマ④】世界遺産教育とその可能性			1. 5H	(担当講師:田淵 五十生)
講習形態	講義形式			
講習内容	誰もが「遺そう!」と声を上げた時に「世界遺産」の概念が産まれた。世界遺産教育を三つにカテゴライズして、世界遺産の概念を整理すると共に、具体的な実践事例を紹介したい。一つは、世界遺産についての教育(Education on World Heritage)、二つは、世界遺産のための教育(Education for World Heritage)、三つは世界遺産を通しての教育(Education through World Heritage)である。			
到達目標・確認指標	世界遺産教育の概念が理解できる、世界遺産の教材化のスキルが習得できる。			
キーワード	世界遺産教育の概念 世界遺産についての教育 世界遺産のための教育 世界遺産を通しての教育			
試験方法	坂井、西山、中澤、田淵:講義終了前10分間の筆記試験			
成績評価の方法・基準等	各講義内容を理解して、自分なりに消化され、それに対して教育的な考察が加えられているか否かについて問います。 各小テーマで25点、合計100点中60点以上を合格とする。			